

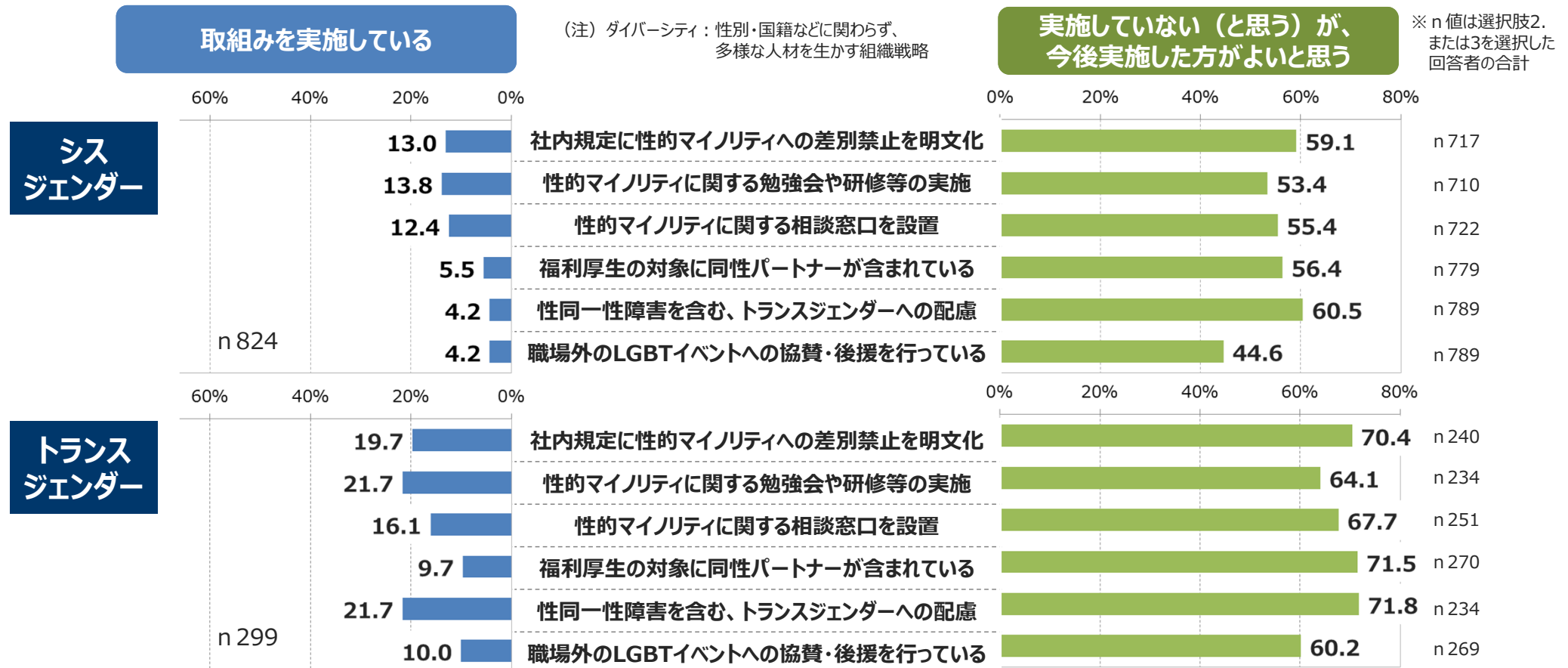
3. 調査結果報告

3-8. ダイバーシティに対する企業の取り組みへの意識

LGBT等性的マイノリティに対する「職場での取り組み」への意識（シス/トランス）

- LGBT等性的マイノリティに対する職場での取り組みを「実施している」と回答した人は少ない。
- 「実施している」と回答した人の割合は、すべての項目でトランスの方がシスより高い。
- 「実施していない（と思う）」と回答した人のうち、シスの5割以上、トランスの6割以上が「今後は実施した方がよいと思う」と回答した。

Q. 「LGBT等性的マイノリティ」に対するダイバーシティ（注）への取り組みについて、あなたの所属する会社・組織・職場での実施状況をお知らせください。
 （選択肢：1.実施している、2.実施していない（と思う）が、今後実施した方がよいと思う、3.実施していない（と思う）が、今後も実施しなくてよいと思う）



- ✓ 実施していることの認知が社員に浸透していない可能性もある。
- ✓ トランスは当事者のひとりでもあるため、意識が高いことが考えられる。また、実施している職場を選んで就職している可能性も考えられる。

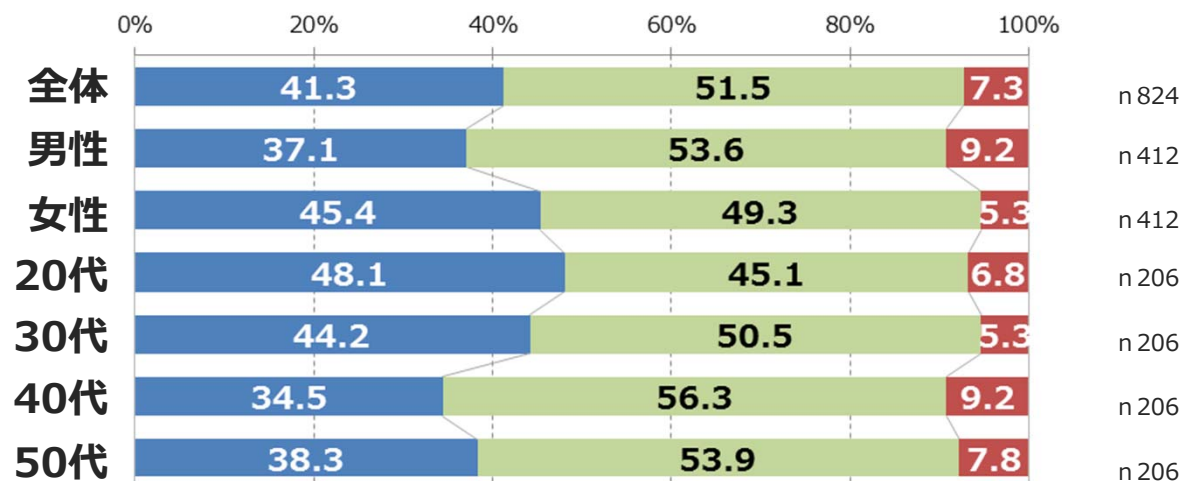
LGBT等性的マイノリティも含むダイバーシティ対応企業での就労意向（シス/トランス/年代）

- LGBT等性的マイノリティも含むダイバーシティ対応企業で「働きたい」と回答したシスは、全体の約4割であり、男性よりも女性に多かった。年代別では中高年層よりも若年層に「働きたい」と回答した人が多かった。
- トランス全体では約7割が「働きたい」と回答、年代が若いほどその傾向が強くみられた。

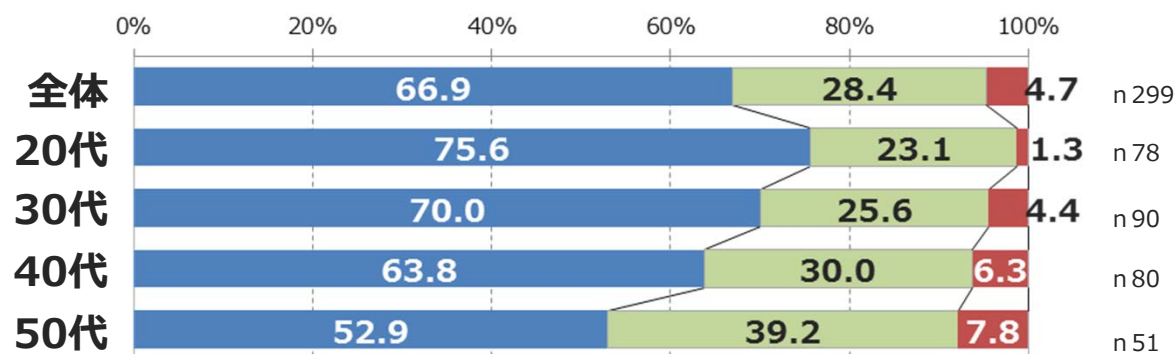
Q.ダイバーシティ(注)について、「LGBT等性的マイノリティ」にも対応している会社・組織・職場であれば、あなたは働きたいと思いますか？

(注)ダイバーシティ：性別・国籍などに関わらず、多様な人材を生かす組織戦略

シス
ジェンダー



トランス
ジェンダー



■ 働きたいと思う ■ どちらともいえない ■ 働きたいと思わない